

記者発表資料

平成26年度 横浜国道事務所の事業概要

横浜国道事務所では、首都圏中央連絡自動車道、厚木秦野道路等の整備や道路の管理を行っています。
平成26年度は、約270億円(維持管理費を除く)で事業を実施します。
主な事業は、以下のとおりです。

《主な事業内容》

しゅとけんちゅうおうれんらくじどうしゃどう けんおうどう
■**国道468号 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)〈H26事業費:125.08億円〉**

かなざわ とつ か
・**金沢～戸塚**

道路設計、用地買収及び橋梁工事、地盤改良工事等を実施します。

よこはましようなんどうろ
・**横浜湘南道路**

道路設計、用地買収及び橋梁工事、立坑工事、トンネル工事等を実施します。

ちがさき えび な
・**茅ヶ崎～海老名** **平成26年度開通予定**

倉見地区改良工事等を実施します。

おだわらはこねどうろ
■**国道1号 小田原箱根道路〈H26事業費:10.92億円〉** **平成26年度開通予定**

山崎地区改良工事、山崎高架橋上部工事等を実施します。

平成26年度新規事業化

あつぎはだのどうろ
■**国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)〈H26事業費:0.5億円〉**

調査設計等を実施します。

かながわしょうなん ごうかんきょうたいさく
■**国道1号 神奈川湘南1号環境対策〈H26事業費:0.5億円〉**

環境対策検討等を実施します。

かながわけんせいぶ ごうかんきょうたいさく
■**国道246号 神奈川県西部246号環境対策〈H26事業費:0.5億円〉**

環境対策検討等を実施します。

■**交通安全事業〈H26事業費:20.57億円〉**

たんまちえきまえはどうかんきょうかいぜん
・**国道1号 反町駅前歩道環境改善** **平成26年度新規事業化**

交差点改良及び交通安全施設整備等を実施します。

■**電線共同溝事業〈H26事業費:17.57億円〉**

電線類の地中化及び路面復旧工事等を実施します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／神奈川県政記者クラブ
横浜市政記者会／横浜ラジオ・テレビ記者会／川崎記者クラブ／相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2
電話 045-311-2981(代表)
副所長[改築] 佐藤 重孝 (さとう しげたか) (内線204)
副所長[管理] 梶原 竹生 (かじわら たけお) (内線205)

平成26年度 横浜国道事務所 事業費

(単位: 百万円)

事業名		H26事業費
改築事業		23,205
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	6,450
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(横浜湘南道路)	3,940
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(茅ヶ崎～海老名)	2,118
	国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)	6,050
	国道1号 小田原箱根道路	1,092
	国道246号 厚木秦野道路	2,650
	国道246号 秦野IC関連	360
	国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)【新規】	50
	国道1号 新湘南バイパス	5
	国道16号 神奈川16号環境対策	270
	国道1号 神奈川湘南1号環境対策【新規】	50
	国道246号 神奈川県西部246号環境対策【新規】	50
	国道1号 川崎1号環境整備	70
	国道16号 横須賀地区トンネル改修	50
交通安全事業	国道1号 反町駅前歩道環境改善 他9箇所	2,057
電線共同溝事業	国道1号 西小磯電線共同溝 他17箇所	1,757
合 計		27,019

※上記の他、維持管理費、調査費等がある。

横濱国道事務所の主な事業



国道468号 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

概 要

圏央道は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路で、3環状9放射ネットワークの一部を形成し、東京都中心部への交通の適切な分散導入を図り、首都圏全体の交通の円滑化、首都圏の機能の再編成を図る上で重要な路線です。

神奈川県内においては、湾岸地域と内陸地域を結ぶ新たな交通軸としても期待されています。当事務所管内においては、これまでに茅ヶ崎JCT～寒川北ICの間の5.1km、海老名JCT～相模原愛川ICの間の12.0kmが開通しています。

【事業区間】

国道468号 首都圏中央連絡自動車道

【圏央道の状況(平成26年1月撮影)】



海老名南JCT付近



注1) ※1土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合
 注2) 未開通区間のIC・JCT名は仮称(海老名南JCT、相模原ICを除く)

凡	例
事業中	-----
開通済	————

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[金沢～戸塚]

(横浜市、鎌倉市)

平成26年度事業費:64.5億円

概要

こうそくよこはまかんじょうみなみせん

圏央道[金沢～戸塚]【高速横浜環状南線】は、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性向上、交通渋滞の緩和、副都心や地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化に寄与することを目的とした道路です。

これまでの状況

かまりやちょう

ぐみざわちょう

横浜市金沢区釜利谷町～横浜市戸塚区汲沢町までの延長8.9km(一部事業は東日本高速道路(株)が担当)について、道路設計、用地買収及び本線第一橋下部工事、田谷地区地盤改良工事等を実施しており、用地進捗率は約80%(平成26年3月末現在)となっています。

また、平成26年3月に土地収用法に基づき、事業の目的及び事業内容について説明会を開催しました。

平成26年度の予定

道路設計、環境調査、用地調査、用地買収及び田谷地区地盤改良工事、本線第一橋下部工事、栄IC・JCT Aランプ下部工事等を実施します。

かまりや

《開通の見通し》釜利谷JCT ～ (仮称)戸塚IC間 「平成32年度※1」 開通予定

※1 土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



注1) ※1土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

注2) 未開通区間のIC・JCT名は仮称

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[横浜湘南道路]

(横浜市、鎌倉市、藤沢市)
平成26年度事業費:39.4億円

概 要

圏央道[横浜湘南道路]は、既に通している区間の新湘南バイパス等と一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担の適正化、国道1号の交通混雑緩和等に寄与する道路です。

これまでの状況

横浜市栄区田谷町^{たやちょう}～神奈川県藤沢市城南一丁目^{じょうなん}までの延長7.5kmについて、道路設計、用地買収及び藤沢ONランプ橋下部工・上部工工事、横湘トンネル立坑工事等を実施しており、用地進捗率は約71%(平成26年3月末現在)となっています。

また、平成26年3月に土地収用法に基づき、事業の目的及び事業内容について説明会を開催しました。

平成26年度の予定

道路設計、環境調査、用地調査、用地買収及び藤沢ONランプ橋工事、横湘トンネル立坑工事、引地川護岸改修工事、横湘トンネル工事等を実施します。

《開通の見通し》(仮称)栄IC・JCT ～ 藤沢IC間 「平成32年度※1」開通予定

※1 土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



国道468号 首都圏中央連絡自動車道[茅ヶ崎～海老名] しゅとけんちゅうおううれんらくじどうしゃどう ちがさき えびな (茅ヶ崎市、寒川町、海老名市) 平成26年度事業費:21.18億円

概要

圏央道(茅ヶ崎～海老名)は、圏央道の一部であり、神奈川県内における南北方向の交通軸として都市間の道路交通網強化及び交通混雑の緩和を目的とした道路です。

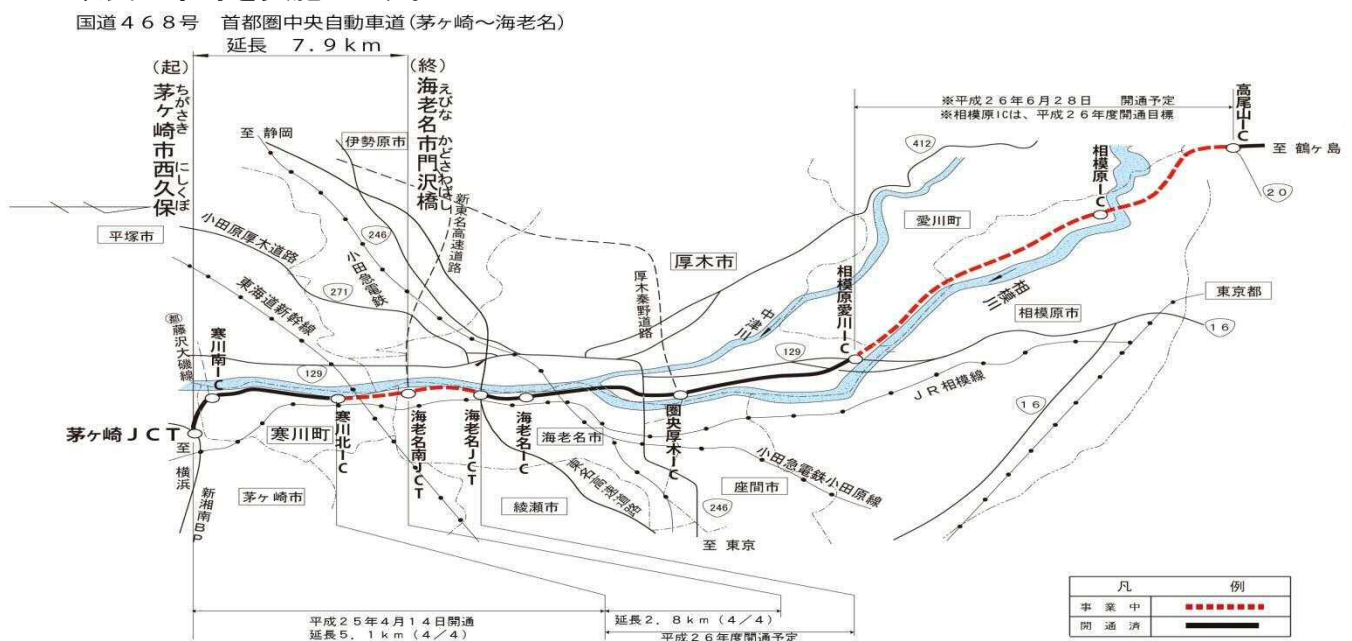
これまでの状況

茅ヶ崎JCT～海老名南JCTの区間(延長7.9km)について、道路設計、埋蔵文化財調査及び改良工事等を実施しております。

これまでに茅ヶ崎JCT～寒川北IC間(延長5.1km)が平成25年4月14日に開通しました。

平成26年度の予定

寒川北IC～海老名南JCT(延長約2.8km)の平成26年度開通に向けて、道路設計及び倉見地区改良工事等を実施します。



寒川南IC付近(平成26年1月撮影)



寒川北IC付近(平成26年1月撮影)

国道357号 とうきょうわんがんだうろ 東京湾岸道路(神奈川県区間)

(横浜市、横須賀市)
平成26年度事業費:60.5億円

概要

東京湾岸道路は、内陸部の交通混雑の緩和を図るとともに、湾岸に立地する諸都市、諸施設の機能の効率化に資することを目的とした道路です。

これまでの状況

国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)は、川崎市川崎区浮島町^{うきしまちよう}から横須賀市夏島町^{なつしまちよう}までの間の延長35.1kmの区間であり、そのうち当事務所は横浜市鶴見区大黒ふ頭^{だいこく}から横須賀市夏島までの延長22.3kmの整備を行っています。

これまでに横浜市中区千鳥町^{ちどりちよう}から横浜市区金沢区八景島^{はっけいじま}の延長約13.4km、横浜ベイブリッジ一般部の延長2.2kmの併せて延長15.6kmが暫定2～4車線で開通しています。

現在、横浜市中区本牧ふ頭^{にしきちよう}から横浜市中区錦町の本牧地区について、道路設計、橋梁工事、改良工事を実施しています。

平成26年度の予定

本牧地区の道路設計、橋梁工事、改良工事等を実施します。

《開通の見通し》 本牧地区「平成27年度」開通予定



本牧地区付近(平成26年1月撮影)



本牧地区付近(平成26年1月撮影)

国道1号 小田原箱根道路

(小田原市、箱根町)

平成26年度事業費:10.92億円

概 要

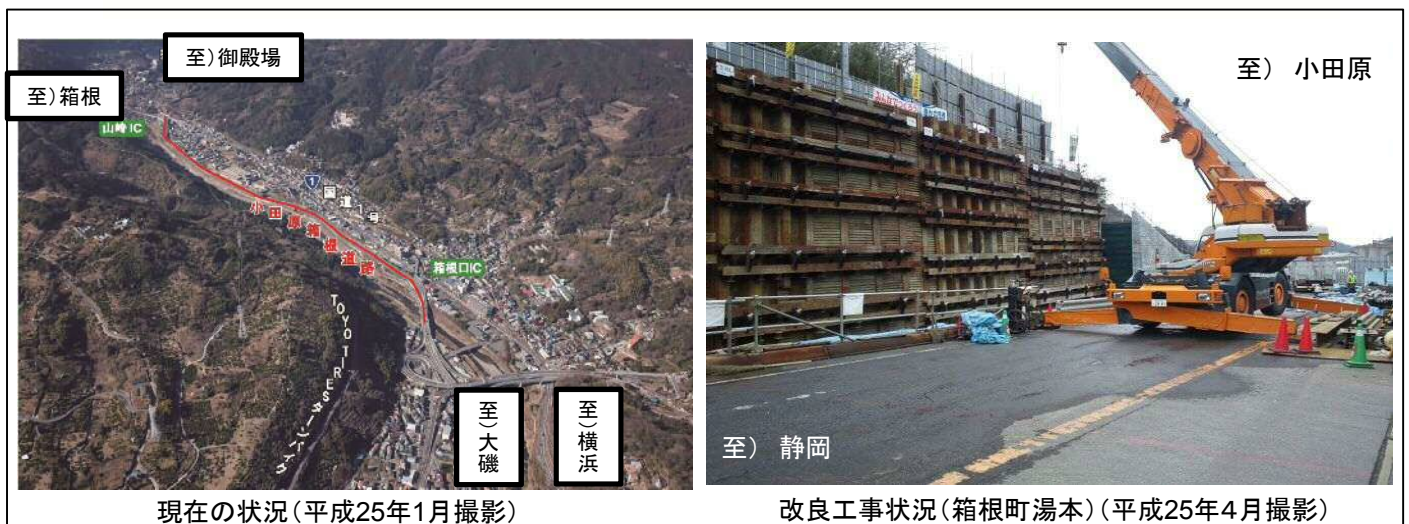
国道1号小田原箱根道路は、国道1号の小田原市風祭から足柄下郡箱根町湯本までの間の交通混雑の解消を目的とした道路です。

これまでの状況

小田原市風祭～足柄下郡箱根町湯本までの間の延長2.2kmのうち、これまでに2.0km区間については平成17年3月に2車線にて開通しています。

平成26年度の予定

平成26年度完成4車線開通に向けて、道路設計及び山崎地区改良工事、山崎高架橋上部工事等を実施します。



あつぎはだのどうろ 国道246号 厚木秦野道路

(厚木市、伊勢原市)
平成26年度事業費:26.5億円

概要

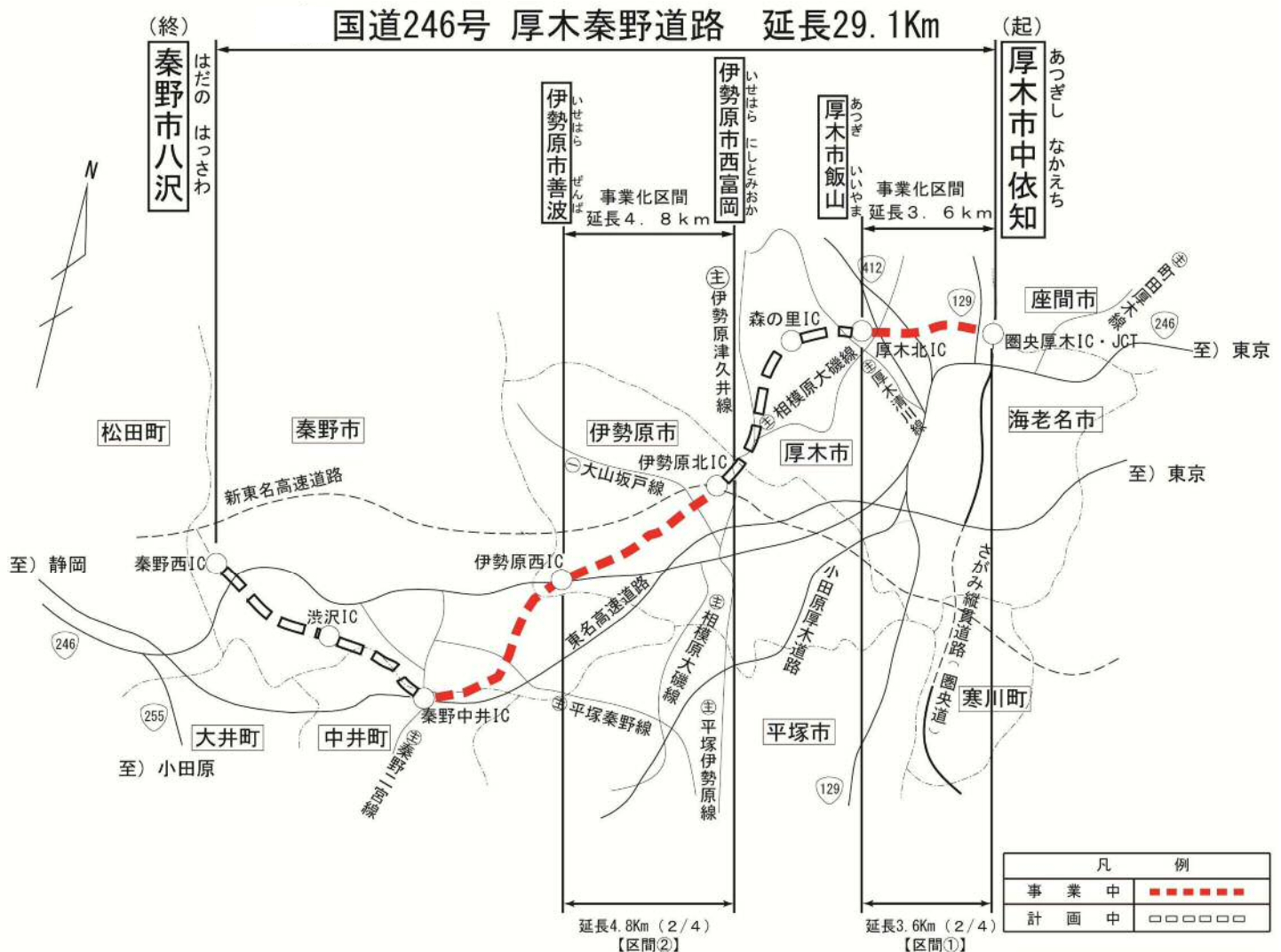
国道246号厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成する道路です。

これまでの状況

厚木市中依知^{なかえち}～厚木市飯山^{いいやま}[厚木地区(延長3.6km)]までの間及び伊勢原市西富岡^{にしとみおか}～伊勢原市善波^{ぜんば}[伊勢原地区(延長4.8km)]までの間において、これまで道路設計及び用地買収、埋蔵文化財調査等を実施しています。

平成26年度の予定

道路設計、環境調査、用地買収、埋蔵文化財調査及び三ノ宮・上粕屋地区改良工事を引き続き実施します。



国道246号 秦野IC関連

(秦野市)
平成26年度事業費:3.6億円

概要

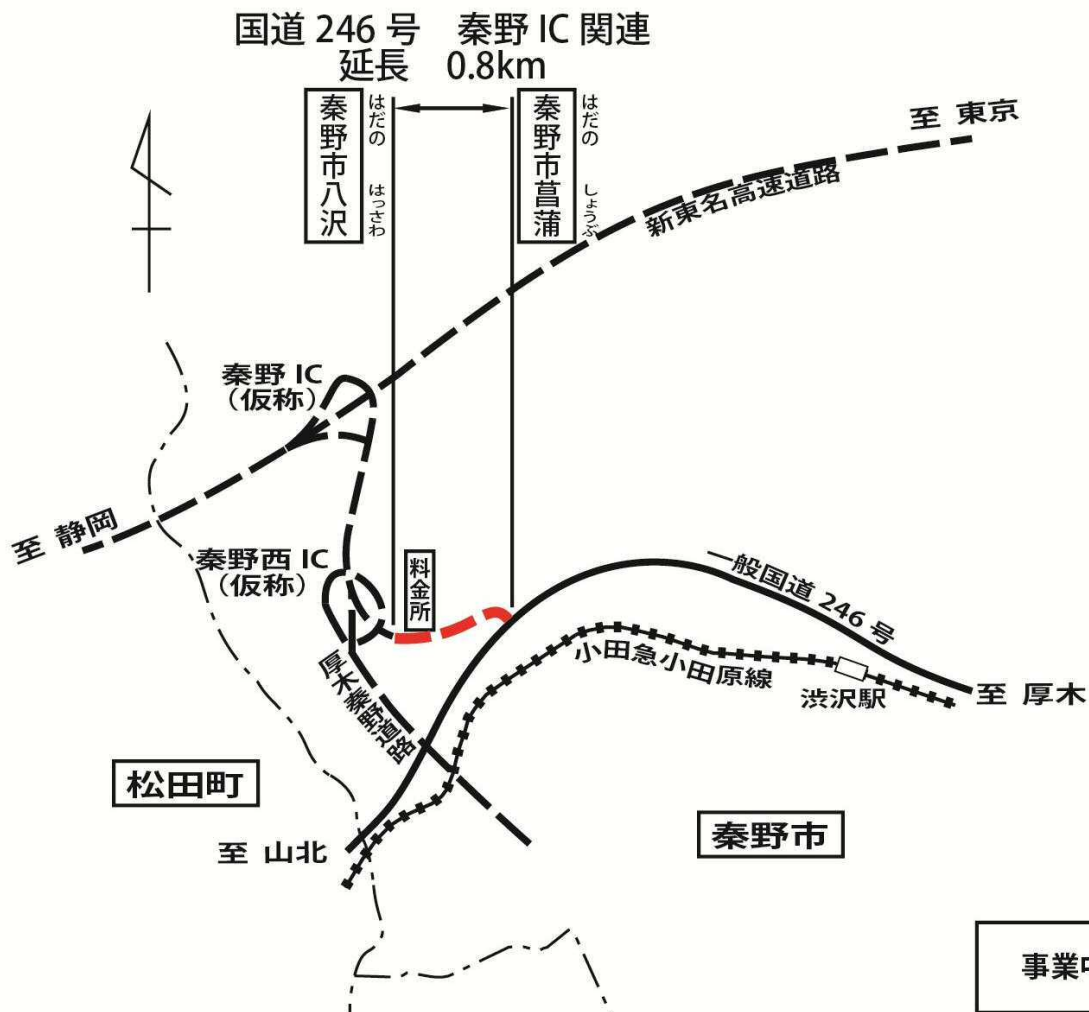
国道246号秦野IC関連は、新東名高速道路と国道246号を接続するインターアクセス道路整備事業です。

これまでの状況

秦野市菖蒲～秦野市八沢の間の延長0.8Kmについて、道路設計、環境調査、用地調査及び用地買収等を実施しています。

平成26年度の予定

道路設計、環境調査、用地調査及び用地買収等を引き続き実施します。



国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)

(伊勢原市、秦野市)

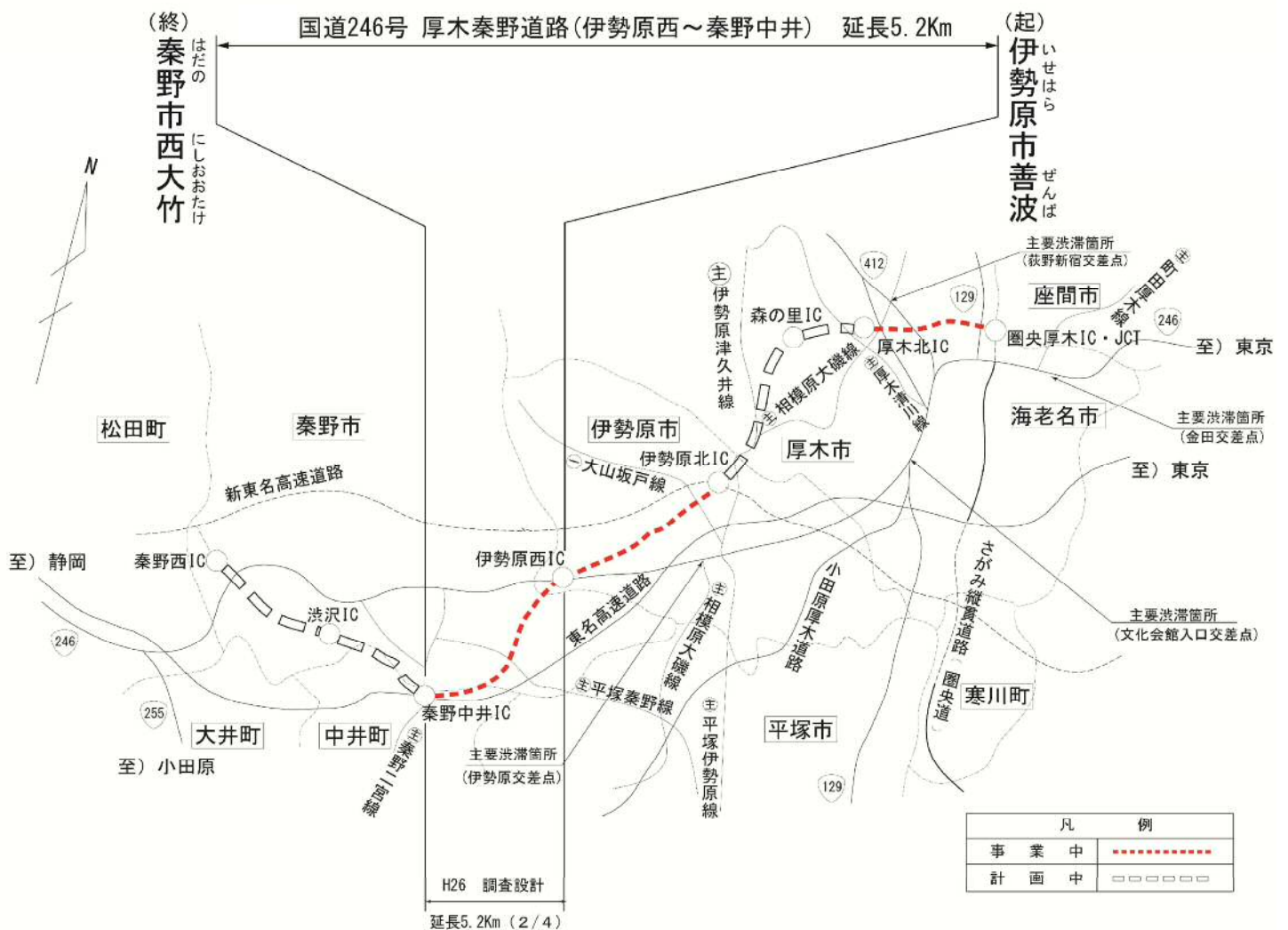
平成26年度事業費:0.5億円

概要

国道246号厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成する道路です。

平成26年度の予定

調査設計等を実施します。



しんしょうなん

(茅ヶ崎市、平塚市、大磯町)

平成26年度事業費:0.05億円

概要

国道1号新湘南バイパスは、国道1号の茅ヶ崎市、平塚市及び周辺部の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした自動車専用道路です。

これまでの状況

藤沢IC～茅ヶ崎西ICまでの間(延長8.4km)は、昭和63年3月に4車線にて開通しています。
これまでに茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸ICまでの間(延長1.2km)は、平成7年12月に4車線にて開通しています。

平成26年度の予定

道路設計を実施します。



ごう かんきょうたいさく

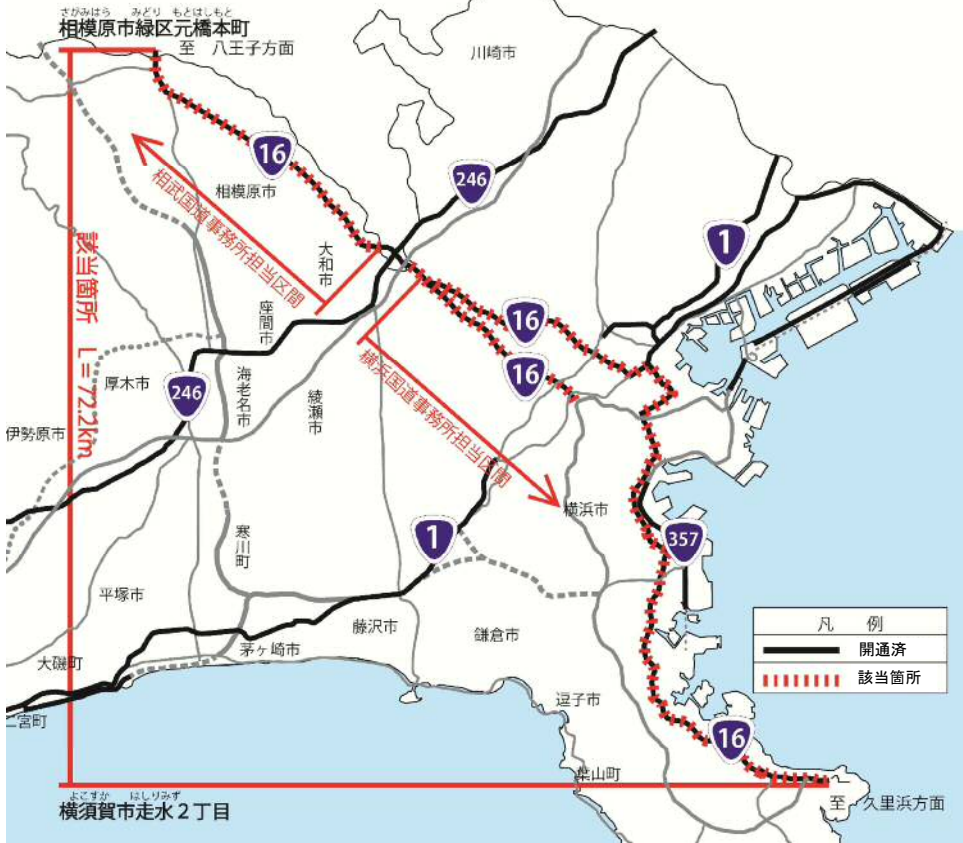
平成26年度事業費:2.7億円

概 要

横浜国道事務所では、管内の国道16号の延長56.8kmの整備を推進します。

平成26年度の予定

環境対策検討及び環境対策工事を実施します。



【現況写真(国道16号保土ヶ谷BP)】

平成25年5月撮影

至 八王子方面

至 横須賀方面



至 八王子方面

至 横須賀方面

【対策の例】

現在遮音壁

対策後遮音壁

上り

下り

道路

本線

現況遠音壁

下り

道路

道場

国道1号 神奈川湘南1号環境対策

(横浜市、茅ヶ崎市)

平成26年度事業費:0.5億円

概要

国道1号神奈川湘南1号環境対策は、神奈川県内の国道1号(延長92.5km)における騒音環境の改善を目的とした沿道環境整備事業です。

横浜国道事務所では、管内の国道1号の延長6.0kmの整備を推進します。

平成26年度の予定

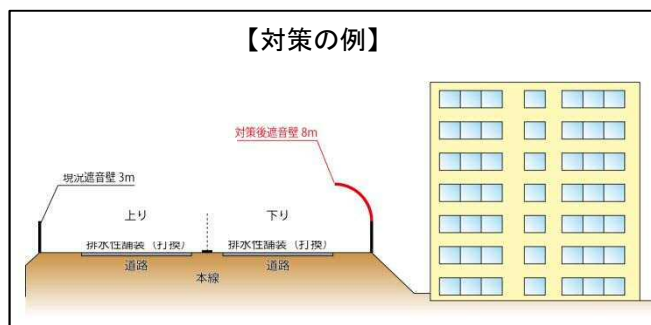
環境対策検討を実施します。

平面図



よこはま とつか はらじゆくまち
横浜市戸塚区原宿町付近

至
沼津



国道246号 神奈川県西部246号環境対策

(厚木市・秦野市)

平成26年度事業費:0.5億円

概要

国道246号神奈川県西部246号環境対策は、神奈川県内の国道246号(延長73.8km)における騒音環境の改善を目的とした沿道環境整備事業です。

横浜国道事務所では、管内の国道246号の延長6.2kmの整備を推進します。

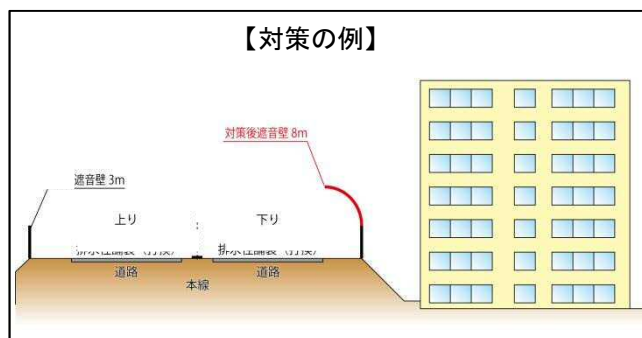
平成26年度の予定

環境対策検討を実施します。

平面図



はだのほりにし
秦野市堀西付近



その他の改築事業

国道1号 かわさき ごう かんきょうせいび 川崎1号環境整備

(川崎市)

平成26年度事業費:0.7億円

概 要

国道1号川崎1号環境整備は、川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めることを目的とした沿道環境整備事業です。

これまでの状況

こむかいなかのちょう 川崎市幸区小向仲野町～やなぎちょう 川崎市幸区柳町の間の延長2.8Kmについて、環境対策の検討を実施しています。

平成26年度の予定

みなみさいわいちょう 道路設計、南幸町道路改良工事を実施します。

国道16号 よこすかちく 横須賀地区トンネル改修 かいしゅう

(横須賀市)

平成26年度事業費:0.5億円

概 要

国道16号横須賀地区トンネル改修は、横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

これまでの状況

よしぐらちょう 横須賀市吉倉町1丁目～おっぱまちょう 横須賀市追浜町1丁目までの間に存在する、しんうらごう 新浦郷、しんふなこし 新船越、しんたうら 新田浦、しんよしうら 新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を実施しています。

平成26年度の予定

調査設計を実施します。

交通安全対策事業

たんまちえきまえほどうかんきょうかいぜん
国道1号 反町駅前歩道環境改善 (横浜市)
 平成26年度事業費:1.05億円

概 要

たんまち
 国道1号反町歩道環境改善は、歩道橋の機能を有する「東横フラワー緑道」が整備されたことにより、狭溢な歩道幅員の要因となっている反町歩道橋を撤去し、快適な歩道空間の確保を図るものです。

平成26年度の予定

調査設計、工事を実施する予定です。

■位置図



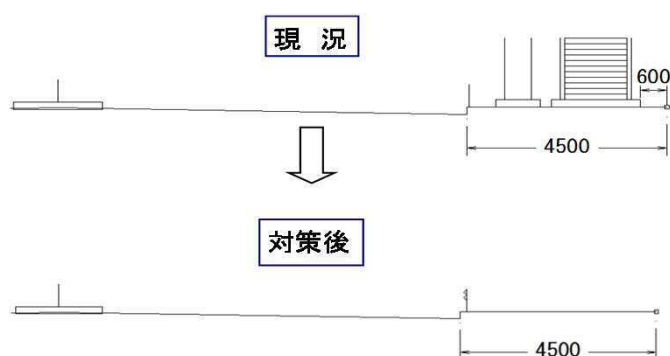
■平面図



■現況状況



■断面図



電線共同溝事業

平成26年度事業費:17.57億円

概要

電線共同溝の整備により無電柱化を図り、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観や防災性の向上等を図ることを目的として整備を実施します。

平成26年度の予定

今年度も引き続き、本体工事、路面復旧工事等を実施します。

【主な事業箇所】

国道 1号	にしこいそ 西小磯電線共同溝	
国道 16号	いそご 磯子電線共同溝	
国道 246号	平沢電線共同溝、溝の口(2)電線共同溝	他14箇所

- 電線共同溝整備の事例 (国道1号 こうづ 国府津電線共同溝)

【整備前】



【整備後】



維持管理

概 要

横浜国道事務所では国道1号、15号、16号、246号、357号、409号の6路線、延長約261kmを管理しており、道路を安全で安心して利用していただくため、巡回、道路清掃、路面の補修などを実施しています。

また、高度経済成長期に集中して建設された道路ストックの長寿命化等予防保全対策を実施します。



巡 回
(落下物回収)



清 掃
(路面清掃・排水施設清掃等)



路 面 補 修

台風、集中豪雨、異常時巡回の実施や緊急処理を実施し、交通の確保を行います。

国道1号箱根新道においては、降雪時の凍結防止剤の散布や除雪作業を行います。



台風後の清掃作業
(国道1号西湘バイパス)



除雪作業
(国道1号箱根新道)

維持管理

維持管理に係る取組

横浜国道事務所では、沿道住民の方々、地元自治体、地元小学校、地元企業と協同して、維持管理に係る様々な取組を試行的に実施しています。

1) 除草・剪定の実施時期のお知らせの試行

除草・剪定の予定時期に関する問い合わせが多い地域を対象に、地域住民や道路利用者に対して、除草の予定時期を看板に記載し、お知らせしています。

※横浜国道管理路線のすべてで実施



国道1号 歩道部（横浜市戸塚区）

2) 道路美化活動に係る啓発活動

【国道246号厚木市金田地先における清掃活動及び、環境美化に対する啓発活動の例】
依知南小学校PTA、金田上部自治会、厚木市と協同して実施しています。

※この他、国道357号東扇島地区でも平成25年度に実施しました。

取り組み活動の様子



取り組み活動後の様子



児童制作の
ポイ捨て防止絵画



▲依知南小学校児童による啓発絵画の掲示(例)

維持管理

平成26年度の主な事業

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁等を定期的に点検して、劣化や損傷が生じた箇所を補修し、長寿命化を図ると共に、橋梁の地震に対するさらなる安全性の確保のための耐震補強を実施します。

【主な事業箇所(橋梁の補修)】

国道 1号 伊勢山新橋 他
 国道 16号 本宿跨線橋 他
 国道 246号 馬絹高架橋 他

耐震補強施工前



平成25年8月撮影

【主な事業箇所(橋梁の耐震補強)】

国道 1号 花水橋 他
 国道 16号 横浜町田立体橋 他
 国道 246号 新鞠子橋 他

耐震補強施工後



落橋防止・変位制限装置の設置

平成26年3月撮影

【国道246号 目黒高架橋における耐震補強事例(落橋防止・変位制限装置の設置)】

また、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、法面の崩壊による被害を防止し、災害から道路利用者を守ることを目的に防災工事を実施します。

【主な事業箇所】

国道 1号 神奈川県中郡大磯町 他
 国道 16号 神奈川県横須賀市塩入町 他

法面防護施工前



平成25年4月撮影

法面防護施工後



法枠吹付工

平成26年3月撮影

【国道16号横浜市金沢区富岡東地区における補修実績例(法枠吹付工による防災対策)】